

今号の主な記事

「男女共同参画懇話会」の委員を募集...2面
西宮市要保護児童対策協議会(みやっこ安心ネット)が発足.....2面
市民生活相談をご利用ください.....3面
市民祭りのシンボルマークを募集.....3面

にしのみや 西宮市 市政 ニュース

Nishinomiya Muni. Bulletin

毎月10日・25日 2回発行

発行 / 西宮市役所
〒662-8567 西宮市六湛寺町10番3号
TEL / 0798-35-3151(代表)
編集 / 総合企画局情報政策部
広報グループ
TEL / 0798-35-3400
Eメール / vo_kouhou@nishi.or.jp

わがまち誕生から80年



市花「さくら」

西宮市は市制施行80周年を迎えました。
大正14年4月1日に、市域面積5.06平方キロメートル、人口3万4427人の県下で5番目、全国で101番目の市として誕生しました。その後、昭和8年に今津町、大社・芝村、16年に甲東村、17年に瓦木村、昭和の大合併と言われた26年には鳴尾・塩瀬・山口村との合併が行われ、市域面積は96.45平方キロメートルになり、人口も約18万人を数えました。その後、アムニティー(生活環境の快適性)豊かな「文教住宅都市」として順調に発展を続け、昭和50年には人口も40万人を突破しました。
しかし、市制70周年にあたる平成7年1月17日の兵庫県南部地震により、甚大な被害を受け、人口も一時38万人台にまで減少しました。このため、7年6月に、まちづくりを安全・安心面から見直し、総合計画を補完する「震災復興計画」を策定し、さらに11年に策定した20年度を目標年度とする「第3次西宮市総合計画」にこの計画を引き継ぎ、市民生活の再建とまちの復興に取り組んできました。
震災復興の進展とともに、減少した人口も順調に回復し、昨年12月には震災前を上回る46万人台に達しました。西宮市は、このたびの市制80周年を機に、市民の皆さんとともに、「参画と協働のまちづくり」を進め、誰もが住みたい、住み続けたいまちをめざして新たにスタートします。

西宮市制80周年を迎えて



西宮市議会議長 魚水けい子



西宮市長 山田 知

西宮のシンボル「桜」の開花にあわせるように、私たちの郷土西宮市は、大正14年に市制が施行して以来今年でちょうど80周年を迎えました。満開の桜を眺めるにつけ、全市を桜の園にの情熱を燃やされた先人の皆さんにあらためて感謝いたしますとともに、月日の重さを感じます。
市制80周年という記念すべき節目の年を、市民の皆さんと共に喜び、また我がまちの歩んできた歴史を振り返り、そして50年後、100年後の西宮市のあるべき姿を市民の皆さんと一緒に考えてみる機会にできたらと思います。

我が西宮市は、山と海に囲まれた良好な自然環境に加え、住宅環境の整ったま

ちとして市内外から高い評価を得ております。今日の西宮市が形づくられるには、先人による戦後の復興や今日のまちづくりの目標を決めたことと、先人や先輩の学び、次代を担う若者や子どもたちの誇れる西宮のまちづくりを一層進めてまいりたいと思います。市民の皆さんのご支援、ご協力を心からお願いたします。



市制80周年記念イベント

80周年記念イベントの詳細は、順次、本紙などでお知らせします。主なイベント予定は次のとおり。

平成17年	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成18年	2月
フラワーフェスティバル in 西宮市民表彰	青少年問題フォーラム	ホームステッド・フィルハーモニック交響楽団演奏会	にしのみや市民祭り・西宮ハレイド2005	大学交流祭	酒ぐらルネサンス	和菓子まつり	洋菓子園遊会	消費生活展	青少年健全育成のつどい	人権フォーラム
市制80周年記念音楽会										



市の木「くすのき」

「西宮市政ニュース」は、今号から、発行日前日と当日に、すべての世帯と事業所のポストへ戸別配布でお届けしています。

「西宮市政ニュース」は、今号から、発行日前日と当日に、すべての世帯と事業所のポストへ戸別配布でお届けしています。発行日を過ぎて届かない場合は、西宮市シルバー人材センター(フリダイヤル)0120-72-4833(午前9時~午後8時)へご連絡ください。